

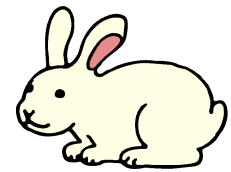


甲斐市立竜王中学校
学校だより No11
令和5年1月11日



3学期スタート～始業式より～

いよいよ3学期がスタートしました。令和5年の干支は「うさぎ」です。みんなにとって、この一年が飛躍の年となることを願っています。



今年の年末年始は3年ぶりに行動制限もなくなり、家族で出かけたり、久しぶりに親戚が集まったりして、コロナ前の冬休みと同じように過ごせた人も多かったのではないのでしょうか。

とはいうものの、新型コロナの感染状況が大変心配される場所です。特に3年生にとっては、受検を控えた大切な時期になります。体調管理には十分に気をつけて過ごしてほしいと思います。

2学期の終業式では、「頑張れる何かを見つけて、人にエネルギーを与えられるように」という話をしましたが、新しい年を迎え、「何かを頑張ろうとか、何かを始めよう」など、新たな目標や決意を抱くことができたでしょうか。

暮れにテレビを見ていると、あるCM(確かハンバーガーの)で気になった言葉がありました。「正解の(正しい)道を選ぶのではなく、選んだ道が正解となるよう生きる(努力する)」という言葉です。いい言葉だなと思いました。

夢や目標を実現するための過程において、「どの道を選んだらよいのか」たくさんの選択に迫られます。何が正しい道なのかじっくり考えることは大切ですが、選んだ道で、あるいは自分の置かれた道で、精一杯努力することが大切であることを教えてくれているように思いました。

さて、この3学期は、今年度を締めくくる学期であると同時に、来年度に向けてエネルギーを蓄える充電の時期でもあります。それぞれの学年が、次へのステップに向けて、良い準備ができるよう毎日を大切に過ごしてほしいと思います。

3年生は、早い人では既に受検を終えた人もいますが、ほとんどの人がこれから、受検という大きな壁に立ち向かうこととなります。物事を成功裏にやり遂げるには「準備が8割」といいます。万全の準備をして受検に望んで下さい。

2年生は、最高学年となり、竜王中のリーダーとして力を発揮する年度を迎えます。これまで培った力をベースに、地域に誇れる竜王中の実現を目指して頑張ってください。

1年生は、中堅学年となる年です。後輩ができた「1年生だから」という甘えは通用しなくなります。下級生の良き手本となれるよう、しっかり準備をしていってください。

1年のスタートにあたり抱いた夢や目標が実現できるよう、努力を重ねていきましょう。

先生たちも頑張ります。気持ちを新たに充実した素晴らしい学期となるよう共に頑張らしましょう。



「強くなるために〇〇が必要」

2学期の終業式に紹介した本「運転者 未来を変える過去からの使者」から、さらに印象に残った一節がありましたので紹介したいと思います。

主人公の岡田修一は、あるバーでカウンターの隅で一人で飲んでいる藤上新という30代の男性と知り合います。彼は自称ミュージシャンで、路上で歌を歌いながら日銭を稼いでいる若者でした。

そんな若者に修一は、「それにしても毎日大変じゃないですか？だって来月どころか明日の収入も決まってるじゃないですか。恐ろしくないんですか？」と尋ねます。すると藤上は「岡田さんはギターを弾いたことありますか」と尋ねます。「いいえ」と答えた修一に、藤上は左手の指先を見せます。「指先が硬くなるんですよ」といって触らせた。ギターを弾いてみると分かるのですが、最初は指先が柔らかいのでギターの弦を押さえようとすると指の方が凹みます。ギターの弦は結構硬くて強く張ってあるので、ちゃんと音を出すには強く押さえないとイケない。そうすると、触っていないつもりでもいろんなところが弦に触れて音が出なくなります。

修一は藤上から渡されたギターを弾いてみて、弦の張りの強さを感じます。次に左手でCというコードを押さえて弾いてみますがうまく音が出たのは1本分だけで、残り5本分はきれいな音が出ませんでした。何度か握り直してCのコードを鳴らしてみますがやっぱり上手いきません。

ギターを藤上に返すと、「でも頑張ってるって、こうやって指先が硬くなる。指先が硬くなると、触れるような感覚で弦を押さえることができるんです」といって、Cのコードを弾いてみせ、鋭い音を響かせた。

「ギターは指先が硬くなるから弾けるんですよ。これってすごいことだと思いませんか。ずっと続けていると体がギター仕様になるんですよ。でもこれギターだけの話しじゃないでしょ。人間の身体って、一つのことをずっと続けていると、それをやるのに適した仕様が変わっていくんです。」

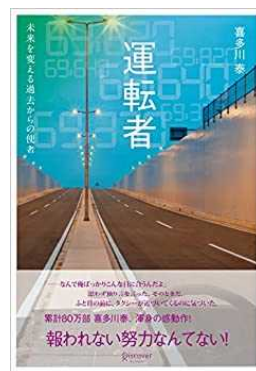
「俺ね、人間の身体は、どんな仕様にも対応できるように、最初はあらゆるところが柔らかくできているんだと思うんですよ。それであることに興味を持って身体を使い始めて継続すると、それに必要な部位が成長したり硬くなったりして、それをやるのに適した身体になってくるんです。でもその間には必ずあるものがある。」

その間にあるもの、修一は左手の指先を見る。

「そうです。痛みです。痛みがあつてようやく身体はそれをやるにふさわしい仕様に仕上がる。痛みを経験して初めてスペシャリストになれる。…要は人間は最初は柔らかくて弱いんですよ。だけど使い続けていくと痛みは伴うけれど、どんどん強くなって行って、痛みを感じなくなる頃にはそれ仕様に生まれ変わっているというのが僕の持論なんです。」

「強くなるために痛みが必要だと思うと、強くなるために、もっと試練を、もっと試練をって思うようになったんです。」

この話し、ギターを経験したことがある人ならすぐ納得できると思いますが、ギターだけではなくいろんなことに言えそうだと思います。



【通学路の工事について】

学校南東の交差点拡幅工事にともない、3学期よりしばらくの間、校庭東側の県道(歩道)の工事が始まります。通行に不便が生じますが、登下校の際には気をつけて通行するようお願いいたします。また、自動車での通行の際にも注意していただきますようお願いいたします。